

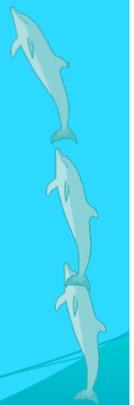
イルカの人工尾びれの開発 ～水族館での獣医師の役割～

沖縄美ら島財団
獣医師
植田 啓一

2015年8月11日

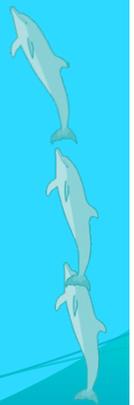
動物園水族館の社会的役割

- 教育
- レクリエーション
- 自然保護
- 調査研究



水族館の研究作業

- ・野生動物を望ましい方法で捕獲
- ・輸送
- ・良好な状態で長期生存
- ・飼育下繁殖に成功
- ・新生仔を長期飼育



水族館における研究の目的とは

より良き飼育に資すること

研究者との共同研究などで実施する
基礎的な研究



飼育個体の管理や野生個体保護に応用



沖縄美ら海水族館の診療モデル

X線検査

CT検査

尿検査

血液検査

糞便検査

細菌学的検査

内視鏡検査

超音波画像
診断検査

受診動作訓練

初めてのチャレンジ

初めての発想

多方面からの検証

実用化への様々な工夫

異業種との連携

人工尾びれプロジェクト



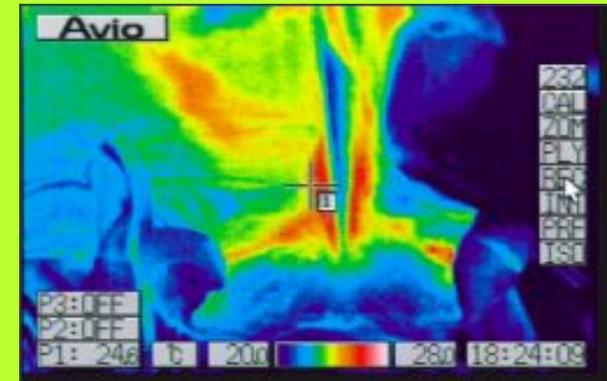
尾びれ成形手術



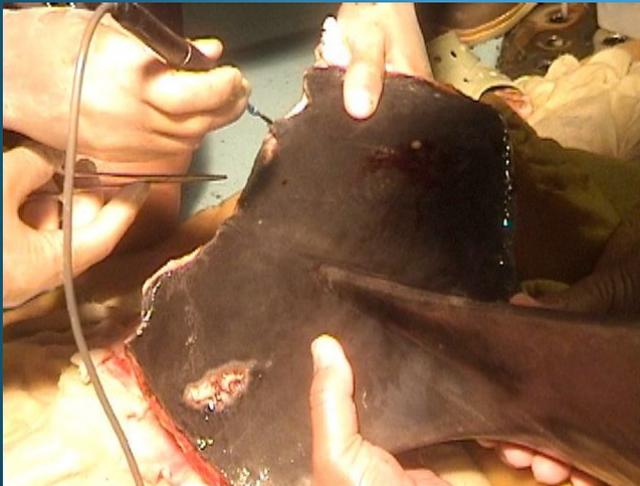
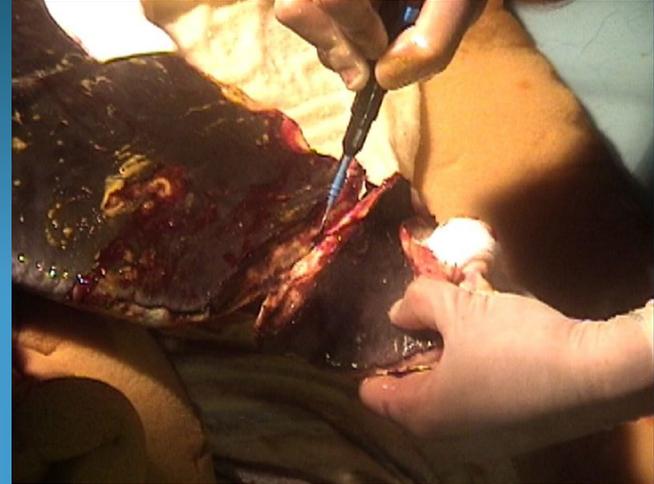
バンドウイルカ
(*Tursiops truncatus*)
個体名: フジ, 雌, 飼育歴26年
体長270cm, 体重220kg)



7日目



サーモグラフィー検査



尾びれの治癒の経過



7日目



90日目



174日目

治療後のアプローチ (リハビリテーション)



